

■趣 旨

小規模多機能型居宅介護が地域密着型サービスとして位置づいて3年半が経過し、全国で2,185か所（wamnet8月末現在）の事業所が開設されました。平成20年度の経営実態調査では、平均要介護度が2.57と制度創設当初想定された3.5よりも低く、昨年度介護報酬改定では、介護従事者のキャリアアップなど全サービスに導入されたものに加え、事業開始時加算や看護加算、認知症加算など、小規模多機能型居宅介護独自の加算が創設されました。また、昨年報告された社会保障国民会議では2025年に60万人分の小規模多機能型居宅介護を全国で整備する計画など、小規模多機能型居宅介護に対する期待も高まっております。

このたびの全国大会では、小規模多機能型居宅介護は何か実現できるのかを明らかにするとともに、介護保険を取り巻く環境は、どのように変化し、どこに向かおうとしているのか、地域密着型サービスや地域包括ケア研究会の報告など、小規模多機能型居宅介護を中心に、社会保障をめぐる全体像を学ぶとともに、これからの地域密着型サービスについて学びます。皆さま、一緒に考え合いませんか。

■プログラム

11月28日（土）1日目

時 間	内 容
12:30～13:00	受付・開会
13:00～14:00	「これからの医療・介護」 厚生労働省大臣官房審議官 (医療保険、医政、医療・介護連携担当) 唐沢 剛 氏
14:15～15:15	「政治のゆくえと社会保障の将来」 東京大学 名誉教授 社会保障審議会委員 (介護給付費分科会会長) 大森 彌 氏
15:30～17:30	認知症の人のためのケアマネジメント ～「ライフサポートワーク」が実現しようとするもの～ ■パネラー 鞆の浦・さくらホーム（広島県） 介護支援専門員 石川裕子 氏 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 副代表 宮島 渡 氏 日本介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏 厚生労働省老健局振興課 課長 土生栄二 氏 ■コーディネーター 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 教授 太田貞司 氏

